千代女あさがおまつり出展用　朝顔作り作業目安

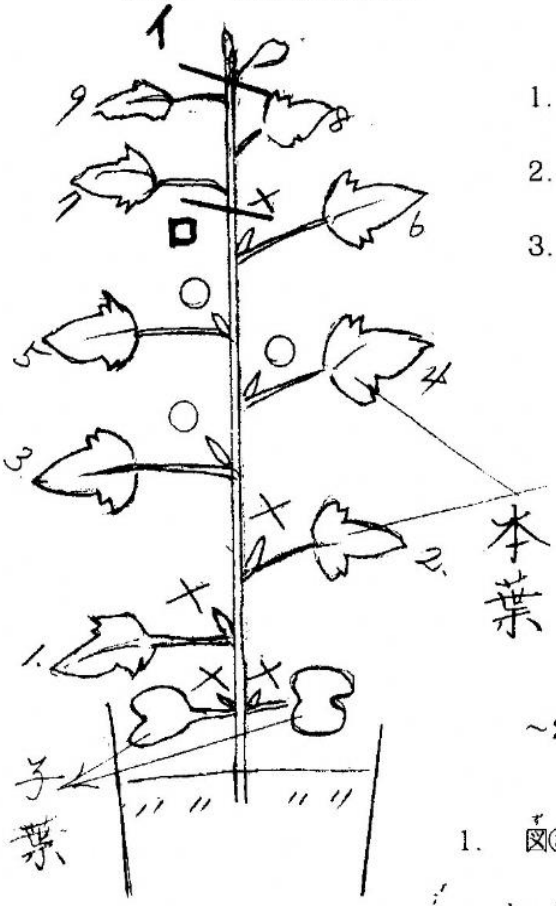
令和7年度版（審査：8月1日）栽培暦

月　　日	作　　業　・　肥　　料	水やり・その他
	〔子づる仕立て〕 配布された苗を本鉢植えまでは、日光と風通しの良い所に間隔を広げて置いて下さい。 （6月21日に道の駅めぐみ白山にて、苗の無料配布を行います。）	水道水は直接やらず、 汲み置きし日向水にする。
6月２１日	本鉢定植　置肥　　ＩＢ化成（N10.P10.K10）を５ｇ～10ｇづつ２ヶ所に施す。 ※乾燥肥料なら大サジ１杯位を２ヶ所に施す。	定植時に２、３回に分けて たっぷり水をやったあとは、 ２～３日は水やり不要。
	置き場所　　日当たり・風通しの良い所で、 高さ６０cm位の台に鉢幅位の間隔で並べ置く。	２～３日毎に鉢を回し、 まんべんなく日光に当て、 できるだけ乾かし気味にし、 根張りを良くする。
２２日	水６０ｃｃ程度を毎日与える。 1日おきに同量の液肥〔ハイポネックス(N6.P10.K5)〕1,000倍を水の代わりに与える。	
２７日	本づる仮摘芯　　本葉９枚目より上で本づるを切る。(別添・摘芯図参照)	よほど乾いたときは、 １日２回水やり。
6月３０日	本づる摘芯　　本葉６枚目より上で本づるを切り、 本葉３～５枚目の脇芽を伸ばして、子づるにする。	但し、午後４時以降は、 乾いても水やりはしない。
7月　４日	液肥（５００倍）１００ｃｃを水の代わりに毎日与える。	必要に応じて、 アブラムシ等の消毒をする。
６日	子づるを２本に　　(子づるが１５cm～２０cm位に伸びた時)	
１０日	子づるを１本に　　(太くつぼみが良くついているものを選ぶ) ※残した子づるより上の本づるも切る。	
１２日	液肥（５００倍）２００ｃｃを水の代わりに毎日与える。	
１５日	あんどんを立てる　つるを左巻きに支柱に巻いていく。(午後がよい) 液肥（５００倍）２００ｃｃを１日２回（朝・夕）与える。 ※雨が降ったり止んだりで蕾がつきにくいときはリン酸、カリ分の液肥を３、４日続けてやる。 増し土をする。　　※４、５日置いて少しづつ２回位	
２７日	上段つる止め（子づるがあんどんの最上段に到達したら、先端を切る。） 液肥打切り	
２８日	水３００ｃｃ程度を１日２～３回与える。	
３０日	午後から展示会場へ鉢の搬入	
8月１日 ～５日	千代女あさがおまつり〔開会式：午前９時予定、審査：午前５時３０分より〕 〃　　展示期間	

★天候や置き場所によって　多少の違いがありますので、目安にしてください

摘芯 大きい花を咲かせたい時は必要です。

～1回目～　図②をご覧下さい



図②

1．②を参考　本葉イの部分をつみ取る

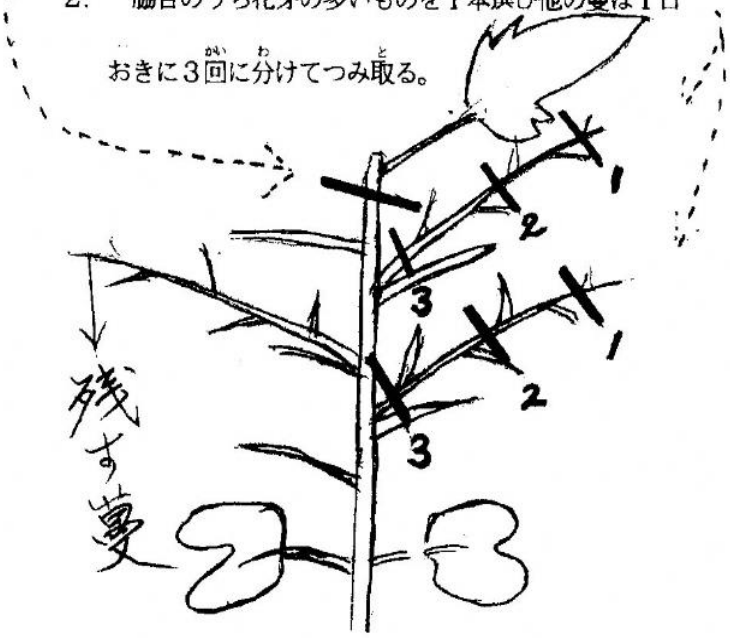
2．2～3日後本葉6枚を残してロの部分をつみ取る

3．脇目（○印のもの）3つ残しとる。

～2回目～　図③をご覧下さい

1．　図③を参考に残した脇目から伸びた蔓が10cm程になったら本蔓の先端を残した葉をつみ取る。

2．　脇目のうち花芽の多いものを1本選び他の蔓は1日おきに3回に分けてつみ取る。



図③